

院生ライフレポート

2026年
第2号(5月)

教職大学院 | 1年生前期の授業を紹介!!

教職大学院に入学して、約1か月が経過して、新しい環境での学びにも少しずつ慣れてきました。現職教員等学生(以下、「現職院生」と学部卒業生等学生(以下、「ストマス」)と一緒に話合いや、発表の準備をする授業も多く、お互いに刺激し合いながら、日々交流を深めています。

今回は、そんな教職大学院の1年生が、前期で履修する共通科目について2つをご紹介します!

【月曜 2限】特別支援教育の基礎と課題(江口先生・中島先生)

この授業では、特別支援教育の実態や多様な背景・特性をもつ子どもへのアセスメントの方法、支援者としての関わり方などについて学習します。授業の後半には、現職院生とストマスが混ざった3人グループで意見交換や事例検討を行い、その後に発表します。

これからの学校教育で、多様な子どもの学びをどのように支援するか、インクルーシブ教育の在り方などについて考えています。

振り返りの小レポートと毎回の予習で、理解を深めています。

#特別支援教育 #障害特性の理解と支援 #アセスメント



うどんが大好きな江口先生!
毎回の授業の最後には、
「今週のサンリオ(キャラクター)」
の紹介もあります!!

【金曜 1限】教職キャリアデザインの基礎と課題(嘉村先生・宮崎先生)

この授業では前半に、「キャリアデザインとは何か」や「年齢段階ごとのキャリア」などのテーマに沿って、担当の班が発表を行い、キャリアデザインの考え方について学習します。

授業の後半では、グループ討議と発表を行います。「キャリアデザインを行う上で大切にしたい視点」や「教師に必要な能力」などのテーマで、現職院生の経験と、ストマスの熱い思いが交わります。

授業後に作成する内省シートでは、授業の内容だけでなく、自身のキャリアについても振り返り、学んだ内容をさらに深めています。

#キャリアデザイン #内省と行動 #基礎力と専門力



先生方から豊富な人生経験についてもお話も聞くことができ、
毎回様々な気づきがあります!!